

ひろしま災害後のこころの支援勉強会主催

第3回公開セミナー

西日本豪雨災害から1年をむかえるにあたって ～支援者に必要な姿勢や視点とは～

西日本豪雨災害からまもなく1年が経ちます。

徐々に復旧は進んできていますが、災害の爪痕は未だいたるところで見られます。豪雨災害から今日まで、さまざまな体験や思いをされながら過ごしてこられたことと思います。

過去の大きな災害から、大人たちの日常生活の不適応や、子どもたちの学校での不適応の背景に、実は災害のストレスが絡んでいたという報告もあります。

これから梅雨時期を迎えることで、災害を思い出し、不安になる方も多いと考えられます。

今回の公開セミナーでは、長期的な視点でのこころの支援を考える中で、「梅雨時期を迎えるにあたり」、どのようなことが予想されるか。また、我々援助者がどういった心構えで援助していくことが大切かといった視点を、公開セミナーに参加された方々と共有する場としていきたいと思ひます。

ご関心のある方々のご参加をお待ちしております。

日 時：2019年5月18日（土）

時 間：18：00～20：30（開場17：40から）

会 場：広島市総合福祉センター 6階 ボランティア研修室
（広島市南区松原町5-1 BIG FRONT ひろしま）

参加費：無料

定 員：50名

***** 参加申し込み *****

参加対象者は、教育関係者・保育士・医療関係者・保健師など、人を援助する専門家、支援員、大学生・大学院生、その他、人を支援する活動をされている方となります。また、質疑応答の中で個人情報が出る可能性がありますので、守秘義務を遵守いただける方に限りません。

参加申し込み希望の方は、①氏名（ふりがな） ②所属と職種 ③連絡先 TEL&FAX ④メールアドレスを明記し、メールもしくは FAX でお申し込みください。

〒731-0103 広島市安佐南区緑井1丁目27-4-104 （ホームスクーリングセンターメイプル内）

ひろしま災害後のこころの支援勉強会 事務局

h.saigaisien@gmail.com / FAX : 082-876-4332

第3回公開セミナー スケジュール

内容	担当
挨拶 公開セミナーの成り立ちと今回のセミナー意味について	橋本智恵美
西日本豪雨災害発生からこれまでの支援について ～体験したこと・体と心～	井上 真一
長期的な視点で、 何を私たちは、意識しながら、支援していくのか ～こころの支援から考える～	杉原 太郎
小休憩	
講義と実践 災害支援の支援者のメンタルヘルス ～持続している、まだ認識していない体と心の状態・一年たった頃 に起こる事へのメンタルヘルス～	岡田 幸彦
梅雨時期のからだと心の反応 ～子どもの支援、大人の支援について～	湊崎 和範
これからの支援にどう生かしていくか	橋本智恵美

*講師の話を受けて、参加者の方々と話し合いを企画しています。

☆講師☆

井上 真一（医療法人せのがわ 瀬野川病院 精神科医）

岡田 幸彦（トポスの森代表 臨床心理士）

杉原 太郎（杉原心理相談室 臨床心理士）

湊崎 和範（広島西医療センター 小児科医）

橋本智恵美（杉原心理相談室代表 臨床心理士）

ひろしま災害後のこころの支援勉強会とは

平成30年度の西日本豪雨災害において被災された方々へのこころの支援のため、医療・福祉・教育などの多領域間で協力、連携し、支援者が災害後の心理的支援やその対応の理解を深め、継続的に適切な支援を行えるよう、学びの場を提供しようと発足した会です。過去に2回の公開セミナーを行っています。内容につきましては、ホームページをご覧ください。

ホームページ：<http://shisyunkisympo-h.sakura.ne.jp/>